

再発防止策検討実務者ワーキング・グループ
第8回 議事概要

1. 日時：令和3年2月26日（金）午後4時00分から午後4時58分まで

2. 場所：東京証券取引所会議室及びオンライン

3. 議題：

- (1)JPX デリバティブ市場における対応について
- (2)コンティンジェンシー・プランの改正案について

4. 議事概要：

(デリバティブ市場における対応について)

- 資料 P.12 の約定の確認について、arrowhead のほうでも何度か議論をしているが、既存のシステムから独立した形でいかに早く確認するかが重要だろう。
- システムの再立ち上げにかかる時間は J-GATE も現在の arrowhead と同様に 3 時間程度を想定していると承知した。
- arrowhead と異なり J-GATE は繰越注文があるが、一部約定した場合でも朝の状態に戻るとのことだと、再立ち上げをした場合の繰越注文の取扱いはどうなるのか整理いただきたい。
- システム的に J-GATE と arrowhead とで障害が連動することは基本的にないものと理解した。
- カレンダー Spredd については構成する先物取引の取引停止と合わせて停止することと承知した。
- J-NET 市場については、障害の内容にもよるものの仮に J-NET 市場だけでも取引が継続可能であれば継続する想定であると承知した。
- 資料 P.8 について、商品グループごとに停止・再開判断をするということだが、弊社システムでは通番を 1 つで管理しているため商品ごとの再起動を想定しておらず、システム改修が必要になる。

(コンティンジェンシー・プランの改正案について)

- Target で発出される有価証券売買責任者宛ての意見聴取については、必ずしも有価証券売買責任者の ID を利用して回答しなければならないわけではないと承知した。

(今後のスケジュールについて)

- 接続仕様書等の改正や障害訓練の実施など、今後のスケジュールを改めて提示いただくと、証券会社のほうでもシステム改修のスケジュールが立てやすい。

以上

(なお、議事概要については、東証株式部文責による。)